

関係人口創出プロジェクト 179リレーシヨンズ ～地域との関係をつくる～

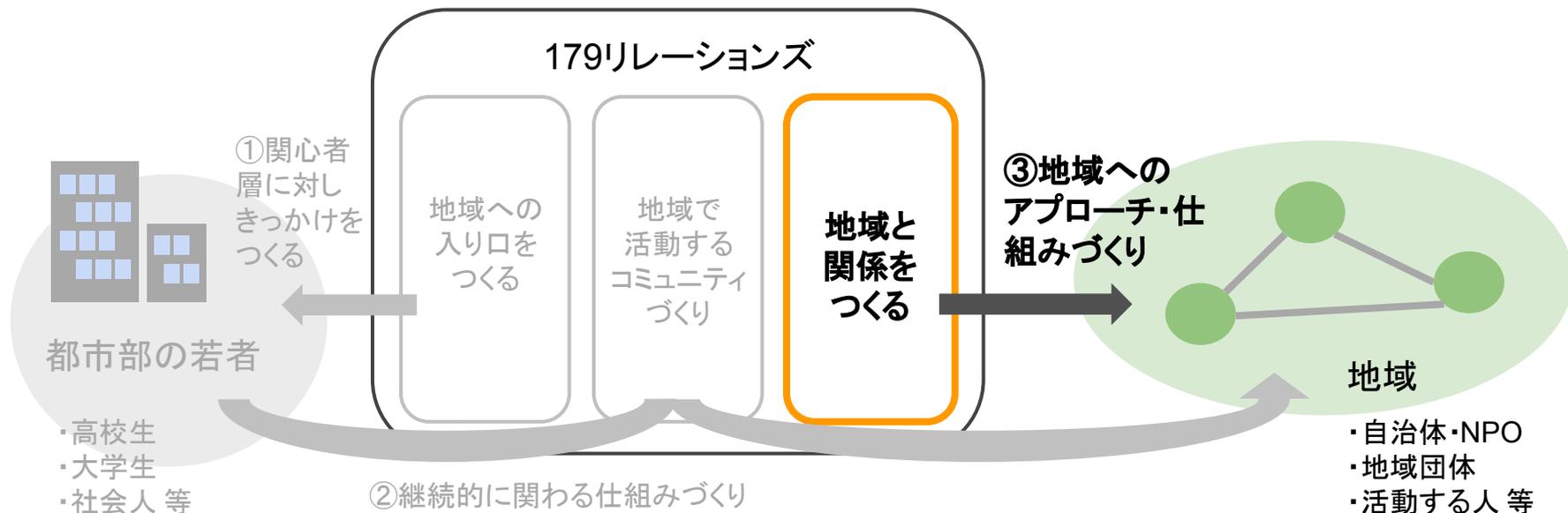


2022年度ezorock報告会

ZOO

「地域と関係をつくる」活動について

北海道内の各地域が持続的に維持されることを目指し、関係人口創出の仕組み(地域に関わる「入り口」)を構築することを目的に活動(2020.4～)



「地域と関係をつくる」活動について

①地域住民を巻き込んだ地域づくり

地域内で行われている地域づくり活動にコーディネーターなどで関わる

②関係人口を地域に巻き込む活動

単発の地域に滞在するプログラムを実施し、長期的に地域に関わる人材の掘り起こしを行う

③地域での活動を伝える場づくり

北海道各地で行われている活動を伝え、地域同士を繋ぐ機会をつくる

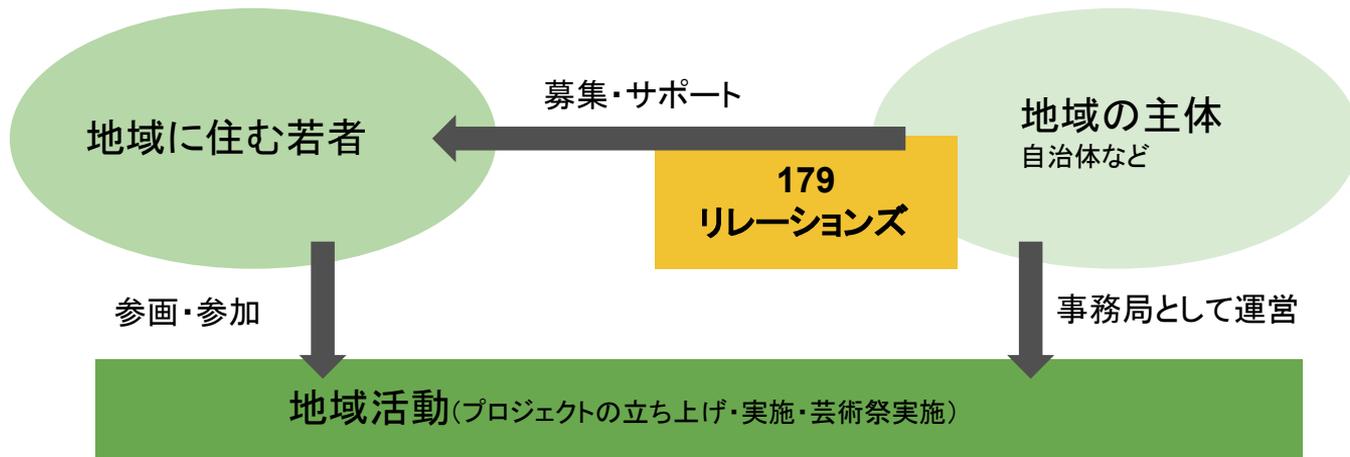
④関係人口創出の仕組みづくり

持続的に地域外から人が訪れ、地域に関わる仕組みそのものの価値や体制を検討する

実施活動

①地域住民を巻き込んだ地域づくり

地域内で行われている地域づくり活動にコーディネーターなどに関わる



例)・南区芸術祭2022 ボランティアコーディネーター(札幌市南区地域振興課)／5月～12月

・鷹栖町まちlabコーディネーター(鷹栖町地域振興課)／6月～1月

事例：南区芸術祭2022

芸術祭や南区所縁のアーティストを通して、南区を知り地域に関わるきっかけに

時期：2022年8月21日～9月25日

体制：札幌市南区地域振興課（芸術祭実施・ボランティアコーディネート委託）

参加：39人（のべ130人日）

内容：作品見回り・来場者への声かけ・広報活動



実施活動

②関係人口を地域に巻き込む活動

単発の地域に滞在するプログラムを実施し、長期的に地域に関わる人材の掘り起こしを行う



例)・厚真町長期滞在プログラム コーディネーター(厚真町教育委員会・北海道教育大学函館校)／8～9月

・おためし地域おこし協力隊プログラム 実施(佐呂間町・秩父別町)／10月・1月

事例：厚真町長期滞在プログラム

長期間地域に滞在しながら人々や暮らしに触れる。子どもや震災後の復興について学ぶ。

時期：2022年8月22日～9月19日

体制：厚真町教育委員会（受入／委託）

北海道教育大学函館校（地域づくり支援実習として学生の送り出し）

参加：8人（教育大学函館校・釧路校・北海学園大学）／のべ79人日

内容：農作業・公営塾訪問・中学校訪問・災害、地域教育についての学習



実施活動

③地域での活動を伝える場づくり

北海道各地で行われている活動を伝え、地域同士を繋ぐ機会をつくる



例)・オンライン関係人口フェスティバル“リレフェス2022”開催／12月

・季刊誌 リレーションズマガジン 発行／通年

事例:リフェス2022

専門家や地域で活動する人々が事例や活動を紹介し合い、関わりへの入り口に

時期:2022年12月10日~11日

体制:内閣府(補助)

石狩市浜益区・鷹栖町・栗山町・しべつ未来塾(出展/実行委員会への参加)

場所:バーチャル空間oVice

参加:176人 / 出展:13地域14団体

内容:専門家による基調講演(田中輝美さん・中島みきさん)

実践事例や活動する人のことを知る分科会(1日2つ)

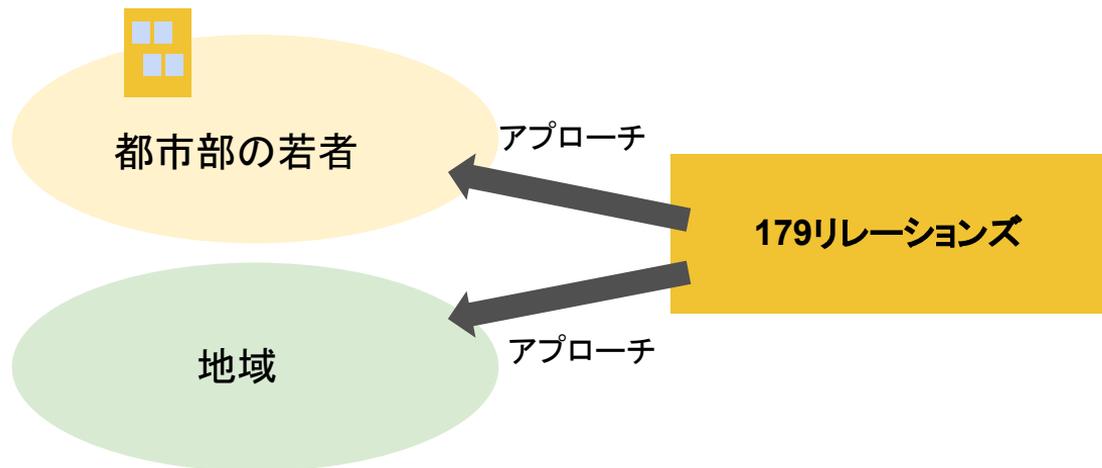
双方向にコミュニケーションし、地域や活動を知る出展ブース(14ブース)



実施活動

④関係人口創出の仕組みづくり

持続的に地域外から人が訪れ、地域に関わる仕組みそのものの価値や体制を検討する



例)・リレーションシップ研修 実施(札幌市まちづくり政策局・石狩市浜益区・鷹栖町・栗山町)／10月～3月
・持続的な北海道に向けた関係人口を活用した次世代育成事業 実施／通年

成果まとめ

- ・現地で活動した青年層：**約80人**
- ・立ち上げや運営に関わったプロジェクト：**8個**
- ・関わった地域団体(情報発信、ヒアリング等を含む)：**約80団体**
- ・関わった教育機関(情報発信等を含む)：**18校**
- ・メディア掲載：**6件**

季刊地域(浜益版集落の教科書)
北海道新聞(浜益版集落の教科書／鷹栖まぢabo)
広報たかす(鷹栖リレーションズ)
JAさろま広報(おためし地域おこし協力隊)
雑誌 ソトコト(179リレーションズ)

【成果】

- ・関係人口／社会教育の中間支援組織として認識されることが増えている
例)雑誌 ソトコト「関係人口入門2023」掲載 等



▲ ソトコトでの掲載

鷹栖町広報
での掲載



今後の展望

- ・これまでの活動やノウハウを整理し、関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」の役割や機能を明文化する
- ・地域間を行き来し、人の流れを生み出す人材の創出、育成の仕組みづくり
- ・リレフェスの定期開催に向けた体制づくり
- ・コストを抑えながら、各地と共に人の流れを生み出す仕組みづくりや体制づくり（地域への関わりのきっかけになるコミュニティ・自治体等が参画できる体制など）



179リレーションズのまとめ

地域で活動するコミュニティのまとめ

各チームで振り返り等を通じた活動参加者との関係づくりを丁寧に行った。活動へのリピーターや活動参加者がミーティングや勉強会に参加する機会も増え、継続的な関わりのきっかけをつくることができた。

179リレーションズのまとめ・展望

各チームで企画、運営等の活動の型がみえてきたことで、地域の入り口から継続的関わりまでの地域に関わる全体の流れが仕組み化されてきている。

特に、プロジェクト全体として取り組んだ「オンライン関係人口フェスティバル リレフェス」では、実行委員会で運営するイベントに自治体関係者が出展者や参加者として参加する動きも見られた。また、「関係人口」の先行事例が掲載される全国誌に掲載されるなど、北海道内において、関係人口を手法に人と人とのつながりを生み出すプロジェクトとして認知され始めているのではないかと感じている。

来年度はこの流れを確かなものとし、各チームが作り出す一連の流れから、地域への継続的な参加を促していきたい。

最後に

関係人口創出WEBマガジン
179RELATIONS.net



Instagram
@179relations

